

平成27年度下半期

那珂市の財政事情

問い合わせ

財政課財政グループ

☎298-1111

(内線522・523)

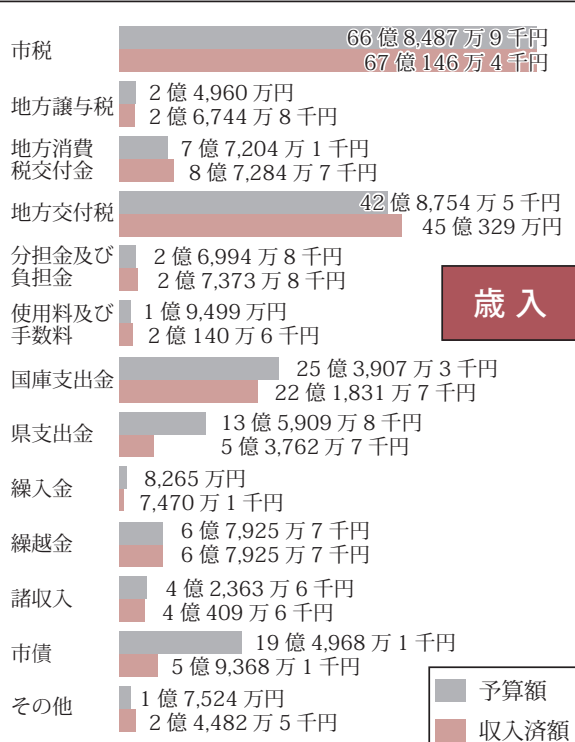
◆一般会計

一般会計は、福祉や教育、土木などに係る市の基本的な経費を計上しています。

歳入では、県支出金の交付や市債の借入れが事務手続きの都合で4月以降になるため、収入割合が低くなっています。歳出では、出納整理期間に支払われる予定のほか、翌年度に繰り越して行う事業があるため、支出割合が低くなっています。

※出納整理期間とは、会計年度末（3月31日）までに確定した債権・債務を完了させ、現金の未収・未払いを処理するために設けられており、翌年度の4月1日から5月31日までの期間をいいます

歳入



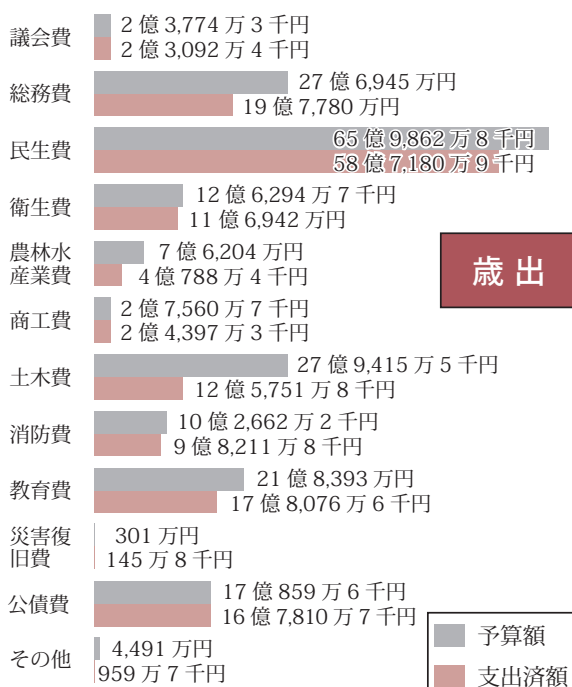
※その他：利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、ゴルフ場利用税交付金、交通安全対策特別交付金、寄付金、財産収入

◆特別会計

特別会計は、特定の事業について、特定の歳入歳出により収支経理を行うため、一般会計とは別に設けている会計です。

歳入では、下水道事業などでの市債の借入れや一般会計からの繰入れ、国庫支出金の交付が、歳出では、公園墓地事業での一般会計への繰出しが、それぞれ事務手続きの都合で4月以降になることから収入・支出割合が低くなっています。

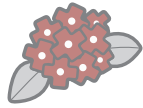
歳出



※その他：諸支出金、予備費

市では、市民の皆さんに市政運営の状況をご理解いただくため、毎年2回（9月末と3月末）、財政事情を公表しています。地方自治体では、最終的な決算額は5月末日に確定するため、今月号では3月末現在の予算の執行状況や市有財産の現在高などについてお知らせします。

会計名	予算現額 (A)	収入済額 (B)	支出済額 (C)	収入割合 (B)/(A)	支出割合 (C)/(A)
国民健康保険 (事業勘定)	69億7,098万6千円	61億6,744万9千円	62億7,317万3千円	88.5%	90.0%
下水道事業	26億3,750万2千円	7億8,059万3千円	19億9,821万1千円	29.6%	75.8%
公園墓地事業	1,554万8千円	1,538万6千円	335万2千円	99.0%	21.6%
農業集落排水 整備事業	10億272万2千円	3億3,169万1千円	7億8,081万9千円	33.1%	77.9%
介護保険 (保険事業勘定)	43億8,319万4千円	42億7,502万円	38億4,915万8千円	97.5%	87.8%
上菅谷駅前地区 土地区画整理事業	1億1,853万8千円	373万9千円	1億1,356万2千円	3.2%	95.8%
後期高齢者医療	5億3,199万7千円	5億2,573万8千円	5億1,001万8千円	98.8%	95.9%
合計	156億6,048万7千円	120億9,961万6千円	135億2,829万3千円	77.3%	86.4%



税目	収入済額	1世帯あたりの負担額	1人あたりの負担額
市民税	28億8,667万1千円	130,083円	51,941円
固定資産税	29億8,107万1千円	134,337円	53,640円
軽自動車税	1億2,791万6千円	5,764円	2,302円
市たばこ税	4億565万1千円	18,280円	7,299円
都市計画税	2億9,703万3千円	13,385円	5,345円
合計	66億9,834万2千円	301,849円	120,527円

※世帯数22,191世帯、人口55,576人（平成28年3月31日現在）

◆市税負担の状況

市の財政は、市民の皆さんの直接・間接の負担により賄われています。中でも、市税は、財政運営上極めて重要な歳入であり、常に適正公平な賦課徴収に努めています。

◆市債現在高

市債は、大規模な事業を実施した際に、国や民間の金融機関などから借り入れた資金であり、公債費として支出し返済しています。

区分	平成27年 9月30日現在	平成28年 3月31日現在	増減
民生債	530万円	397万5千円	△132万5千円
衛生債	3億6,022万4千円	3億8,268万1千円	2,245万7千円
農林水産業債	1億7,404万1千円	1億5,279万8千円	△2,124万3千円
土木債	7億3,968万2千円	6億7,168万2千円	△6,800万円
河川債	4億9,310万8千円	4億8,987万5千円	△323万3千円
都市計画債	20億4,474万9千円	19億2,508万3千円	△1億1,966万6千円
公営住宅債	2億4,653万8千円	2億1,114万7千円	△3,539万1千円
消防債	1億6,230万円	1億5,346万円	△884万円
教育債	23億2,173万2千円	21億8,174万4千円	△1億3,998万8千円
減税補てん債	3億6,420万9千円	3億3,570万5千円	△2,850万4千円
臨時税収補てん債	4,078万5千円	3,279万円	△799万5千円
臨時財政対策債	90億9,815万7千円	93億5,866万6千円	2億6,050万9千円
茨城県振興資金	0円	0円	0円
小計	160億5,082万5千円	158億9,960万6千円	△1億5,121万9千円
下水道事業債	15億8,836万円	15億3,381万4千円	△5,454万6千円
農業集落排水整備事業債	39億7,300万6千円	38億9,030万6千円	△8,270万円
土地区画整理事業債	6億5,555万6千円	6億1,495万2千円	△4,060万4千円
水道事業債	5億7,531万8千円	7億8,322万1千円	2億790万4千円
合計	228億4,306万5千円	227億2,189万9千円	△1億2,116万6千円

◆一時借入金

一時借入金とは、会計年度中に収支の不均衡を生じ歳計現金が不足した場合に、その資金の不足を補うために一時的に借り入れるもので、当該年度の歳入で返済します。平成27年10月1日から平成28年3月31日までの期間においては、一時借入れは行いませんでした。

◆市有財産現在高

区分	平成27年 9月30日現在	平成28年 3月31日現在	増減
土地	1,767,326㎡	1,781,009㎡	13,683㎡
建物	165,352㎡	166,547㎡	1,195㎡
有価証券	1,339万4千円	1,339万4千円	0円
出資による権利	7,551万9千円	7,601万9千円	50万円
債権	2,973万7千円	1,911万1千円	△1,062万6千円
基金	71億2,448万8千円	76億7,620万8千円	5億5,172万円

※水道事業会計は含まない

◆水道事業会計

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。収益的収支は、経常的な業務の収支を示すもので、主な収入は水道料金収入、支出は給水のための経費や人件費、減価償却費などです。また、資本的収支は、水道管の布設など建設改良費の収支を示すものです。収支状況は、赤字となっていますが、この不足分については、内部留保資金などで補うこととなります。

区分		予算現額 (A)	収入・支出済額 (B)	執行率 (B)/(A)
収益的収支	収入	11億9,820万2千円	12億1,347万2千円	101.3%
	支出	10億8,042万5千円	9億5,893万9千円	88.8%
資本的収支	収入	4億507万7千円	3億8,800万1千円	95.8%
	支出	8億8,729万4千円	8億80万円	90.3%